

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
ターミナルケア論	3年次 前期	必修	講義	1単位(30時間)	小林 伸子※
授 業 概 要					
<p>ターミナル期にある対象および家族の理解と基礎的知識の学びを通して、ターミナルケアに必要な援助について教授する。死に向かう人々や家族の特徴を理解し、最期まで尊厳を尊重した生き方を支えるための思考と支援法を学ぶ。また、ターミナルケアにかかわる看護者としての態度を学ぶとともに、自らの死生観を養う。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ターミナルケアの概念、歴史的背景と現状について述べる。</li> <li>2. ターミナル期にある対象の特徴を理解し、説明できる</li> <li>3. ターミナル期にある対象のケアの基本を説明できる。</li> <li>4. 看取りにおける看護職の役割を説明できる。</li> </ol>					
実務経験のある教員					
小林 伸子：臨床経験をふまえてターミナル期にある対象の看護について教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ターミナル期の理解</li> <li>2. ターミナル期にある対象者の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小児期における特徴</li> <li>2) 成人期における特徴</li> <li>3) 老年期における特徴</li> </ol> </li> <li>3. ターミナル期にある対象者の家族の理解</li> <li>4. ターミナル期医療の歴史と制度</li> <li>5. 緩和ケア <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 痛みの緩和</li> </ol> </li> <li>6. 死の受容 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子供と家族の死の捉え方</li> <li>2) 成人の看取り、臨終時の看護</li> <li>3) 家族ケア</li> <li>4) 臨死期の対応、家族の参加、家族心理</li> </ol> </li> <li>7. ACP、グリーフケア(事例展開)</li> <li>8. 在宅における看取りの看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自宅で死を迎えることの意味</li> <li>2) 看護の役割、多職種連携</li> </ol> </li> <li>9. 臨死期の看護</li> <li>10. 死亡時の看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 死後の処置</li> </ol> </li> </ol>				小林 伸子※
学 習 方 法					
講義 グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験 レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>[教科書]  系統看護学講座 別巻 緩和ケア 恒藤 暁 田村 恵子 著 医学書院</p>					